



### 地区の概況

- 丘陵地形を生かし、昭和30年代後半に計画開発された集合住宅団地で、県公社の分譲・賃貸住宅のほか、企業の寮や社宅が民間マンションに建て替えられています。
- 風致地区が指定されており、身近に斜面林等が残る自然豊かな環境となっています。
- 自治会は小規模で40を超えるため地域活動を個々に実施するのは難しいため、連合自治会を中心に7つの委員会を設けて地域活動を活発に展開しています。

**人口等の特徴** 人口:7,729人 世帯数:3,317世帯 令和2年からの人口増加率:△10.3% (令和7年3月末現在)

令和2～7年には人口が約10ポイント減少していますが、マンションへの建て替えが進んでいることから、この急激な減少に歯止めがかかり、人口の回復と子育て世代も増えていくと予測されます。年少人口の割合は15.7%と区内1位で、高齢化率などは区平均より低いのが特徴です。

### 進めているよ！こんな取組

- 見守りネットワーク事業、災害時要援護者対策事業、救命・救急・救出法講習会、健康づくり事業(ウォーキング等)、ふれあい交流会等に取り組んでいます。
- 自治会連合会が中心の、みんなの広場、エコパトロール、夏休みラジオ体操、学校と地域の懇談会等の各種事業や、地区社協によるうたの広場、健康づくり体操等、青少年指導員の夏休み作品教室等に加え、住民主体の汐見台語り処、汐見台文庫等の取組があります。
- 地区全体では、汐見台まつりや桜まつり等の恒例行事が継続されています。



コミュニケーション委員会  
「みんなの広場」



子どもはぐみ委員会  
「エコパトロール」



自治会連合会  
「汐見台まつり」

### 地域の悩み・こんな町にしたい！

- 単位自治会が多く、地域住民同士の関係や関わりは希薄化が進行しており、居場所やお茶会の参加、さりげない見守り活動の取組、交流・ふれあいの場づくり等を通して、横のつながり、コミュニティづくりをもっとすすめる必要があります。
- 中高生等の若者が地域活動に興味・関心を持ち、イベント等を一緒に企画、実施する等、主体的な活動を応援できる環境を整備することが課題です。
- ケアプラザや、いそごい青い鳥等の事業所、小中学校、病院等地域にある様々な施設や機関との連携、つながりづくりを一層すすめていく必要があります。

### 第5期計画で力を入れたいこと

#### 目標Ⅰ お互いに認めあい自分らしく暮らせるまち

- こどもから子育て世代、高齢者、障害のある方、外国にルーツのある人などが安心して暮らすことができ、また様々な事業に安心して参加できるよう活動を充実します。
- 中高生等の若者が地域の活動に安心して参加できる仕組みづくりと支援体制を構築します。
- 福祉保健活動をしている人が安心して活動できるよう必要な情報を的確に提供し、支援体制を強化します。
- 障害者施設、小中学校、ケアプラザ、病院等と連携して情報の共有を図り、的確に住民のニーズにあった事業・イベントを構築します。



ふれあい交流会

#### 目標Ⅱ つながりを通して健やかに暮らせるまち

- 地域において末永く健康で暮らせるよう、フレイル予防講座等を充実します。
- 健康づくりウォーキングや夏休みラジオ体操等、身近な健康づくりに取り組めるイベントなどを充実します。
- 地域において、棟ごと等、少人数で実施する茶話会などに助成して、地域のつながりの強化を図ります。
- 地域の人が気軽に集い、ふれあいを深めることができるよう、会議室使用料を助成して、地域の居場所づくりを充実します。



健康づくりウォーキング



語り処

#### 目標Ⅲ 共にささえあうお互いさまのまち

- 日頃からのつながりや助けあいを進めるため、声かけやあいさつを行い、顔の見える関係づくりを進めます。
- 地域のさり気ない見守り活動を進めるとともに、直接訪問する等、一歩踏み込んだ見守り活動を推進します。
- 地域の方が安心して見守り活動に取り組めるような制度の充実を検討します。
- 誰もが安心して、地域で暮らせるよう災害時要援護者対策を充実するとともに、外国にルーツのある方への防災対策等の広報の充実、AEDの設置場所等を明記した防災マップを作成します。



救命・救急・救出法講座